



小向八王子祭 毎年8月13日に行われる朝日町指定の無形民俗文化財に指定される火祭り。祭車に乗せた大太鼓と鉦を打ち鳴らしながら地区内を引き回して、小向神社に練り込みます。境内では火の付いた藁束で叩き合い、人に取り付いている悪霊や疫病を追い払います。最後に高さ5～6メートルの大松明に火を付け、火柱を上げます。盛夏に多い疫病を火柱と共に昇天させる神事です。写真提供：三重県観光連盟

目次・主な内容

■ 定時会員総会・特別講演会	2	■ 暑中見舞い	12
■ トップインタビュー	4	■ 三重労働局 News	16
■ 協会事業活動報告	6	■ 委託事業 News	17
■ リレー随想	9	■ 事務局 News	18
■ 大学紹介	10	■ れんらく・つうしん	19
■ 会員発HOTニュース	11	■ 業務日誌	20

平成22年度定時会員総会開催

5月19日(水)プラザ洞津「孔雀の間」において、会員55名の出席のもと、平成22年度定時会員総会を開催いたしました。

開会に続き、奥田会長から挨拶があり、引き続き議長として議案の審議が行なわれました。第1号議案から順次審議が進められ、第5号議案まで満場一致で承認されました。平成22年度の重点課題として、①協会内部活動とサービス機能強化、②研修、教育セミナーの充実、③地域の雇用・人材活性化への貢献、④日本経団連、中部経連、各県経協及び各団体との連携強化、⑤組織拡大活動の5点が掲げられ、また、会員企業の女性の役職者、役員で構成する研修組織「女性懇話会」の新設が予定されています。その後、事務局より報告・連絡事項が行なわれ和やかなうちに閉会いたしました。

会員総会終了後、特別講演が行われました。

■ 議 事

- 第1号議案 平成21年度事業報告(案)
- 第2号議案 平成21年度収支決算書(案)承認及び会計監査報告に関する件
- 第3号議案 平成22年度事業計画(案)審議に関する件
- 第4号議案 平成22年度収支決算書(案)審議に関する件
- 第5号議案 その他(報告・連絡)
 1. 第17期労務管理改善協力委員会報告
 2. インターンシップ受入企業開拓事業報告
 3. 第43回三重労使会議報告
 4. みえ雇用創出会議報告
 5. その他の委託事業報告



会員総会風景



会員総会で挨拶する奥田会長

【会長挨拶】

最近の経済、社会の状況ですが、「先行き不安」といった状況が続いております。政治の状態も期待したほどに民主党の政権が、マニフェストに書かれた内容とは相反して先行き不透明な政策が行われております。高速道路の問題を一例に挙げますと、「無料化」といっておきながら、上限二千円の案に変更になり、6月からスタートでははずが結果的には見送りとなりました。国民生活のインフラ部門である交通・運輸業界にとって、影響の大きい政策の変更を二転三転し、混乱をまねいております。普天間の問題、子ども手当の問題など現実にはうまくいっていない状態があります。経営を取り巻く基礎的な環境の話でありますから大変憂慮をしております。

景気は数字的には回復の傾向にあるようですが、リーマンショック、ドバイショック、最近ではギリシャでショックと世界の経済はショック続きに大揺れであります。経済のグローバル化によるネットワークの結びつきが、以前より強くなっているのと、変化のスピードが速くなっているため、地方で経営をする我々にとって翻弄される度合が高まってきていると考えられます。このことを認識して、経営のスタンスも経済の変化に即応して変えていく必要があります。また、人口問題も地域の企業の立場から見ても深刻な問題になっていくと考えられます。統計的に見ますと2006年の1億2,778万人がピークで、2050年には9,500万人、2080年には6,300人、と大幅に減少するとのこと。人口の減少は経済成長に対して大きなマイナス要因となりますので、国の施策等を見据えながら長期的な視点で取り組んでいく必要があります。

特別講演会

「言葉はプレゼント」～女性アナウンサー奮闘記～

フリーアナウンサー ^{いな} ^ば ^{ひさ} ^み 稲葉 寿美 氏

飲んで喋れるアナウンサー

東海テレビに18年間局アナとして勤めておりました。現在、フリーアナウンサーとして3年です。三重テレビと縁があって「ワクドキ」を夕方6時から7時までの放送で月曜日から水曜日までを担当しております。自分は言葉と言うものを生業としておりますので、言葉をみなさんにプレゼント出来るような立場でありたいと思っております。また、私はアナウンサーと言う肩書きだけではなく、日本ソムリエ協会のワインエキスパートと言う資格があります。一言で言えば、飲んで喋れるアナウンサー稲葉と覚えて頂ければ結構です。アナウンサーには何か特技があった方が良い。高校の時から、放送部に入っていました。就職の時に特徴はと考えた時、お酒が飲める事だと、それ以外に思いつかないのも悲しいのですが。本当に食べたり飲んだりするのが大好きで。じゃあそれを活かせばいいじゃないか、また、アナウンサーとしての幅が広がればと思いつつソムリエの資格を取りました。

スポーツアナウンサーを目指しました

東海テレビに入社し、2年目からドラゴンズの番組を担当する事になり、入社してようやく自分の居場所が見つかりました。名古屋に来るまではドラゴンズのことを知りませんでした。タレントの峰竜太さんと一緒に番組を進行して、峰さんには番組の中で私のいたらぬところを上手くフォローしていただき、本当にお世話になりました。どの業界でもやはり人だなと思います。タレントのベッキーも同じく本当にいい人なのです。「スタッフに対するこまやかな心配りがあるのと無いのではまったく違う」と知り合いのプロデューサーも言っておりました。そう言う心遣いがあると売れっ子になるんだと思いました。

星野さんがドラゴンズの監督をしていた時にグラウンドによく行っておりました。その当時、女子アナがグラウンドに行く事は少なく、それこそ“女子アナがこんなところに来るな”と言われた事もありました。自分が居場所を見つけたのは、スポーツアナウンサーになろうと思ったから居場所が見つかったと思います。よく男女共同参画のコメントを求められる時、“女性アナウンサーでは無く、スポーツアナウンサーを目指した事が長く続けられた秘訣”とコメントしています。

県経宮者協会



笑顔で自己紹介する稲葉講師

「間」は言葉を盛り上げる最大のラッピング

星野監督の一番思い出に残っているのは、ナゴヤ球場最後の年の10月6日。巨人が優勝し、長島監督の胴上げが終わって一段落してから、ナゴヤ球場最後のセレモニーが行われました。ドラゴンズの選手達がグラウンドに行き、星野監督がマイクの前でしばらく立って「ジャイアンツファンの皆さんおめでとう」とスピーチの切り出しはそれでした。他の監督がそのスピーチを言えるかなと思いました。その後も星野監督のスピーチは「間」で男らしさを表現していました。スピーチで「間」は言葉を盛り上げる最大のラッピングです。私は「いい言葉に、じゃあこれを足してこのリボンで包んでラッピングをしてお届けしよう」そんな事を考えながらいつもコメントを作っているのでも「言葉はプレゼント」と言うタイトルを大事にしています。

和顔愛語(わけんあいご)を常に心に

私は、「楽しい」と言う言葉が今一番好きです。作詞家の秋元 康さんのお話の中で、「人生楽しいことしかやる時間が無い」とおっしゃっています。また、色々な方からそんな言葉を聞きます。一流と呼ばれる人達は、一流になるまで大変な苦労があったと思いますが、常に何か楽しんで、それを皆さんにお届けするというのが、「一番生きていて楽しいこと」、「一番皆さんに感謝していただけること」だとお話を聞いていてつくづく感じています。

私がいつも皆さんにお届けしたい言葉の中で「和顔愛語」と言う言葉があります。これは仏教の言葉で「和やかな笑顔と愛のある言葉」という意味です。自分の表情は意外に責任の持てないものです。和やかな顔、できれば爽やかな笑顔で接してください。愛のある言葉はやはり口に出してお届けすることが大切です。「和顔愛語」を常に心に持っているアナウンサーの稲葉でした。

(文責事務局)



会員企業各社、トップの素顔に迫る「トップインタビュー」。第19回は経営者協会理事会社であります、井村屋製菓株式会社 代表取締役社長 浅田 剛夫さんにお話を伺うことができました。

Be always for Customers!

井村屋製菓株式会社 代表取締役社長 浅田 剛夫さん

～明治29年（1896年）の創業から114年の老舗企業として、「ゆであずき」、「あずきバー」、「肉まん・あんまん」など多彩な商品を発表して、消費者の皆様から熱い支持を得られていますが、創業以来、常に新しい付加価値のある商品を提供することを「特色経営」と伺っています。この「特色経営」についてお聞かせ下さい。～

昭和22年（1947年）に会社組織に移行し、会社設立の創業社長であります井村二郎が、この特色経営について社員に提唱してきました。「人のやらないことをやる。」これが特色経営の根幹。今で言う差別化ですね。スペシャリティーの要素をもたないと厳しい市場競争に負ける。市場で生き残るためには「特色のあることをやる」、「人の真似をしない」というのが原点にあります。また、「経理は全部明らかにせよ。」ということで、当初から月次決算をおこなって、会社の現況をオープンにしてきました。この考え方が当社のバックボーンとして、脈々と引き継がれているんですね。例えば「ゆであずき」でいいますと、特4号缶のスタイルを当社が最初に開発し、それをお客様に定着させました。現在、レトルトパウチの容器も発売し好評を得ています。「水ようかん」のポリ容器包装の開発。これも当社が最初でした。当社の商品は、時代のニーズに応えるために日々進化を繰り返しています。

～循環型経済社会システムの構築を目指して、リサイクル飼料やバイオガスなど資源の有効活用をさまざまな形で取り組んでおられますが、「環境」への企業活動についてお聞かせ下さい。～

当社は、環境マネジメントシステム「ISO14001」を早い段階から取り入れてきていまして、平成17年には、本社をはじめ全ての事業所で認証取得しました。私は従来、エコ（Ecology）はエコ（Economy）だといっているんです。環境問題に取り組んで、システム経営を志向してゆけば効率性が上がります。無駄を発見することができます。エコに取り組むということは経済性を豊かにする方向に向かうと考えていますので、全事業所で環境マネジメントシステムに取り組んで、その過程の中で経営の改善をおこなってきました。石油からガスへ、燃料の変更によるCO₂、燃料費の削減。排水処理施設のリニューアルによる排水そのものの大幅な水質改善、余剰汚泥のコンポスト化を実現してきました。また、このエコ活動の意外な効果が現れて、地域の方々から「川がきれいになって鮎が帰ってきましたよ。」と感謝をされました。（笑）

近年SCM（Supply Chain Management）にも力をいれています。事業活動の川上から川下までを総合的に管理することで余分な在庫などを削減し、コストを引き下げ、環境にプラスになるシステム構築に全社をあげて取り組んでいます。また、今秋一部の商品から、カーボンフットプリント（商品のライフサイクル（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出された温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、当該商品に表示する仕組み）の導入も予定しています。



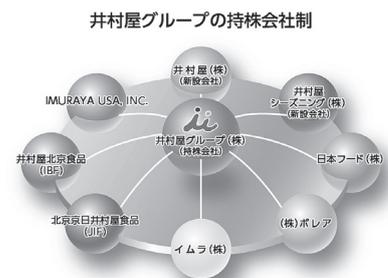
本社社屋

～商品・サービスの改善につなげる活動として、ユニークな名称として「一Qさん」（いっきゅうさん）活動がありますが、このことについてお聞かせ下さい。～

私たちは時として生産者の立場に片寄り、消費者の立場に立って販売するという視点が不足してしまうことがあるんですね。メーカー側から生活者に立場を替えて、客観的に自分たちの商品を見てみよう。そうすることによって“新しい発見”とか、“なぜこうなっているの”ということに気がつく。それを変えていこうというのがこの「一Qさん」活動なんです。「一Qさん」のQは、Question（質問）の頭文字なんです。例えば、「消費期限の表示ですが、包装シールに印字してあるとシールをはがして捨ててしまうと分からなくなってしまいます。」という質問に対して、「容器のキャップに直接印字するようにしました。」という回答がおこなわれる。こういった社員の皆さんからふと感じる疑問から改善に繋げられるよう耳を傾け、より良い商品をお届けできるように心掛けています。また、改善事例をまとめた「一Qさん活動活用集」という事例集を編纂して、社員へのフィードバックもおこなっています。

～御社の将来像についてお聞かせ下さい。～

ご承知のことと思いますが、2010年10月より、グループ会社全体の成長を図ることを目的に持株会社制に移行します。私共の持株会社制は、垂直、支配的な関係ではなく、持株会社を中心に、外側にサークルのように事業会社を配置し、厳しい経営環境の中、グループ相互の連携、社員全員が協働してグループの企業価値を高めていくハブ型のネットワークを特色にしています。また、グループの多彩な経営資源を結集し、より経営効果を発揮するGroup（グループ）経営、グローバル市場での高い成長性を目指すGlobal（グローバル）経営、着実な成長を目指すGrowing（グローイング）経営の3つの「G」を推進し、その先の4つ目の「G」、「Good Company（グッドカンパニー）」になるよう成長して行きたいと考えています。



ハブ型組織図

～公私にわたってご多忙と思いますが、休日の過ごし方などお聞かせ下さい。～

最近はなかなか休日のない日々が続いているのですが、たまの休みになるとだら～としてしまいますね。“休日は次の1週間の安息日”と思っはいるんですがね。(笑) 美術館に行ったり、お芝居を見たり、そういういったことも好きで、時間をみつけて出掛けます。余談ですが、先日、新橋演舞場の「藤山直美の六月喜劇特別公演」がどうしても見たくて、何とか仕事の調整をして見に行って来ました。(笑) また、雑読ですが読書も好きです。文章のうまい人やストーリーテラーがいいですね。開高健、向田邦子、池波正太郎、司馬遼太郎、浅田次郎など人物を巧みに描く人の作品が好きですね。最近テレビでも話題になった「新参者」の東野圭吾も気に入っています。



BOXあずきバー

◆浅田社長略歴

昭和17年7月1日生

学歴

- 昭和40年3月 中央大学 経済学部卒

職歴

- 昭和45年4月 当社に入社
- 平成5年6月 当社取締役調味料事業部長
- 平成11年4月 当社取締役営業本部長
- 平成11年6月 当社常務取締役営業本部長
- 平成13年4月 当社常務取締役マーケティング

- 平成13年6月 本部長兼CVS営業部長 当社専務取締役
- 平成13年11月 当社専務取締役マーケティング本部長兼CVS営業部長兼企画調査営業部長
- 平成14年6月 当社専務取締役マーケティング本部長
- 平成15年4月 当社専務取締役マーケティング本部長兼営業業務統括本部長
- 平成15年6月 当社取締役社長

三重経協活動報告

インターンシップ事前研修会開催

6月5日(土)三重大学生物資源学部「大講義室」において、おしごと広場みえ共催のインターンシップ事前研修会を開催いたしました。

今年から三重県の委託事業としてスタートしたインターンシップ事業ですが、就職難の状況を反映してか、昨年より大幅な学生の参加を数えました。下記のプログラムで事前研修会が行われ、当日は200名を超える参加があり、学生の真摯な態度と若い熱気に包まれ、大変有意義な研修会になりました。

■プログラム

- I. 開会挨拶 (当協会横田専務理事)
- II. 企業側講演 テーマ：「インターンシップを通じて学生に望むこと」
 - ① (株)三重銀行人事部副部長 伊藤 徳男氏



伊藤副部長 (三重銀行)

- ② 昭和四日市石油(株)労務課長 吉田 仁氏



吉田課長 (昭和四日市石油)

III. 学生体験談 テーマ：「インターンシップで得たもの」(体験談)

- ① 鈴鹿国際大学学生
- ② 三重大学学生

IV. 「インターンシップとビジネスマナー」

講師：吉井 優貴氏

(有)トーカイマネジメントアソシエイツ (TMA)



吉井講師 (TMA)

- ① インターンシップの心構え
目的及びアルバイトとインターンシップとの違い
- ② ビジネスマナー



マナー研修を受ける学生たち

- ③ インターンシップ目標設定 しめの
- V. 閉会挨拶 (おしごと広場みえ志明野主幹)

労務管理改善協力委員会活動報告

役員会開催

6月10日(木)プラザ洞津4階会議室において、役員会を開催いたしました。

柳生会長の挨拶に続いて、次回の定例総会（18期）に向けた活発な協議が行われ、提案された案件は満場一致の承認を得ました。協議結果は、8月に開催される定例総会に提案し、承認を得ることが確認されました。当日はご多忙の中、10名の出席をいただきました。



役員会風景

【協議結果】

① 8月定例総会について

開催日程については、8月9日～11日の間で調整し後日連絡する。開始時間は午後1時30分、終了は4時30分の3時間。その後、懇親パーティーを予定する。開催場所は前回同様、プラザ洞津とする。

② 部会再編成について

部会数は今期と同様2部会とする。第1部会のテーマは、「経営環境の変化と各社のコア人材を中心とした人事諸制度の課題と対応」とし、人事・賃金管理、人材育成、能力開発、労使関係、技術・技能伝承等の情報交換、勉強会などを開催する。第2部会は、行政、専門家、大学教授を招いての労働法令関係のレクチャーと法知識の習得を目的に情報交換、勉強会などを開催する。

共通部会は、「これからの企業経営と環境・エネルギー対策について」をテーマに、情報交換、勉強会などを開催し、協会の一般会員にも参加の呼び掛けを行う。

③ 新役員人事について（会長・副会長）

7月の人事異動の動向もあり、事務局案をもとに新任、留任の新役員人事の調整をおこなう。

第1・第2合同部会（最終部会及び懇親会）開催



柳生会長による講習

6月17日(木)スポーツマンハウス鈴鹿において、第1・第2合同部会を開催いたしました。今回は17期の最終ということもあり、オブザーバー参加を加え33名の参加がありました。講演会として、三重労働局長 柳瀬 倫明氏を迎え、『最近の労働情勢について』について伺い、続いて当委員会会長（メディカルセーフティコーチ）柳生 邦雄 氏から『人材育成と職場の活性化について』をテーマに、「職場のリーダーが持ち合わせるべきスキル」、「リーダーシップとは」、「勝ち抜ける人材育成のポイント」など、笑いを交えながらわかりやすい講習を拝聴しました。その後、一流選手が集う鈴鹿スポーツガーデンのプール、サッカー場など施設見学後、和やかな雰囲気の中懇親会が始まりました。名刺交換、情報交換など各テーブルで賑やかに交流が繰り返され、時間を忘れるほどに名残尽きない懇親会になりました。



部会風景

労働保険実務講座開催

4月22日(木)プラザ洞津「明日香の間」において、労働保険（労災保険・雇用保険）実務講座を開催いたしました。

当日は23名の参加があり、特定社会保険労務士 御園 富士夫氏（株）千葉総合コンサルティング代表取締役）から下記のプログラムで実務講座が行なわれました。

1. 法改正への対応
2. 労災保険の対象となる災害、ならない災害
3. 労働保険の年度更新（実務）
4. 労災保険の書類作成（実務）
5. 質疑応答

『労災保険』・『雇用保険』の2つの労働保険制度の最新の法改正の内容や、労災保険の実務ポイントをわかりやすく解説いただき、実際の届出用紙を使った実務演習も行なわれ、“とっても参考になった”と参加者から好評を博しました。



労働保険実務演習風景

社会保険実務講座開催

6月24日(木)プラザ洞津「明日香の間」において、社会保険（健康保険・厚生年金保険）実務講座を開催いたしました。

当日は17名の参加があり、労働保険講座に引き続き、特定社会保険労務士 御園 富士夫氏（株）千葉総合コンサルティング代表取締役）から下記のプログラムで実務講座が行なわれました。

1. 社会保険の主な変更点
(平成21年1月～平成22年4月)
2. 健康保険・厚生年金の定例事務
(算定基礎届・月額変更届の実務演習含む)
3. 改正育児・介護休業法への対応
4. 60歳からの年金・賃金・給付金

【ケーススタディ】

5. 質疑応答

労働保険講座と同様に、実際の届出用紙を使った実務演習も取り入れ、最新の法改正の動向や実務ポイントをわかりやすく解説いただきました。



質問に丁寧に応対する御園講師

行動計画策定セミナー開催

6月15日(火)プラザ洞津「孔雀の間」において、厚生労働省委託事業の一般事業主行動計画等策定事業の一環として、三重県との共催で、行動計画策定セミナーを開催いたしました。

昨年に引き続き、講師に大地 勉 氏（株式会社百五経済研究所経営コンサルティング部 部長兼主席研究員）を迎え、①なぜ、次世代対策が必要なのか？、②上手な行動計画策定のポイント、③企業のタイプ別行動計画の事例など、策定、届出に必要なポイントをわかりやすく解説をされ、参加者も真剣に聞き入っていました。当日は、31社41名の定員を上回る参加者がありました。今後の講習会の日程等

は、随時当協会のホームページに掲載予定ですのでご覧ください。



セミナー会場風景

「若いうちの苦勞は買ってでもしろ」



横浜ゴム株式会社
三重工場
業務課長
しんば 葉 靖 典氏

昔の人はいいことを言います。「若いうちの苦勞は買ってでもしろ」もその一つだと思います。若いうちに苦難に対する訓練を行っておけば、年を取ってからの苦勞も大抵乗り越えられるし、若いうちに苦勞して蒔いた種は後々に実を結ぶ、といったことを論じている言葉ではないでしょうか。そして、これは若い世代の方々に伝えたい言葉の一つであります。因みに、ここで言う「苦勞」は自分の中での相対的な「苦勞」であって、他人の苦勞と比べても意味がないものと私は考えております。

まず、苦勞に対する訓練という意味合いでは、一つに、年々重くなっていく社会的な責任に対する抵抗力をつけておくといった一面があります。会社においては、入社したての頃は上司や先輩の指示とおりに動けばよかったものが、一人で責任を持って仕事を行うようになり、やがて役職に就けば責任も重くなっていき、立ち向かう課題も困難なものになっていくといった様に、だんだん責任が重くなっていきます。家庭においても、結婚すれば自分の家族を養っていくことになり、子供ができれば子供を一人前の大人に育てていく責任を負うことになります。状況によっては、親の面倒をみるといった場合もあるでしょう。親が高齢になってくると、病気や介護、または死別といった苦難も起きてきます。このような苦難は、年齢を重ねるとともに、通常は誰にでも確実に増えていきます。

その一方で、健康と体力の問題も発生してきます。

40歳を超えてきますと顕著に体力の衰えを感じ、身体のアチコちに故障が起こり始めます。「病は気から」という言葉がありますが、逆に身体の故障が起こってきますと気力も低下しがちになります。そうになると、苦難を乗り越えることがだんだん容易でなくなってきます。

この様に、苦難は年を取るとともに増えていく一方で、それに対抗する抵抗力はだんだん落ちていき、苦難に対する免疫力がないと、年をとってから苦難に立ち向かうことが困難になってきてしまいます。私の世代も親の世代より精神力が弱いと感じますが、最近の若い世代は更に精神的に弱いように感じられます。これは、もしかすると、競争の無い子供時代を過ごしたため、苦勞に対する訓練不足の所為なのかもしれません。

もう一つ、「蒔いた種が実を結ぶ」についてであります。喧々諤々意見を交わした相手や、手を焼いた相手など、本当に真剣に渡り合った相手が、その後、場合によっては何年も経ってから、自分を救ってくれる救世主となったり、共に力を合わせて何かを成し遂げるパートナーになったといった経験をお持ちの方もありません。また、失敗し、苦勞して覚えた仕事は強く記憶され、その際、何故その様な失敗に至ったのかといった原因まで考えることにより、類似のことにまで応用が広がり、スキルの幅が広がったという経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。「失敗は成功のもと」この言葉は誰でもご存知の言葉であると思いますし、これもまた、ほとんどの方が経験され、実感していることと思います。逆を言えば、失敗をせず、苦勞をしないままには、自分の世界を広げることはできないとも言えるのではないのでしょうか。

昨今の様な恵まれた時代こそ、「若いうちの苦勞は買ってでもしろ」という言葉が必要になってきている、そんなことを思う今日この頃であります。

Vol.3 皇學館大学

未来へつなぐ日本のこころ

日本人は古くから自然と共生し、その恵みに感謝してきました。そうした日本人の心から生まれたのが神道。日本の精神文化と知の源泉です。

皇學館大学は、伊勢神宮が行ってきた学術的な神道研究を継承する大学です。日本の学問をあらゆる角度から追究し続けて、創立128年を迎えました。

「本物」の史料や文献、芸術・文化に直に触れることで、「真実」と「本質」を読み解く力、そして、「日本のこころ」を正しく次世代へ伝える力を育む。それが本学の目標です。

建学の精神

本学は伊勢の神宮における長い神道研究の伝統を源流として、明治15年、神宮祭主久邇宮朝彦親王の令達によって、神宮の学問所であった林崎文庫内に開設された「神宮皇學館」を発祥としています。

明治33年に神宮祭主の賀陽宮邦憲王から承った令旨には、わが国の歴史と伝統に根差した道義と学問とを学び、日本人としての正しい自覚を確立して、実社会での運用に努め、世界の文明の発展に貢献するという、まさしく本学の建学の精神が記されています。

以来130年近い歳月が経ちましたが、この根本精神は、現在も脈々と受け継がれています。

平成20年度に教育学部の設置、また本年度からは新しく現代日本社会学部を開設するなど、日本の社会と国際状況の変化に対応する改革を行っていますが、この本学の原点は少しも揺らぎません。すなわち、神道を根幹として、豊かで誇りにあふれた国家社会を築こうと努めてこられた祖先の歩みに深い敬意と感謝を捧げ、そこから生み出された独自性に富む精神・思想・倫理・道徳や歴史・文化を学んで継承し、その実現に努力することを目標として、教育・研究を推進しています。



一流の布陣で一流の教育を ～カリキュラム「伝統の心と技」～

日本文化の素晴らしさを体現できる人材育成をめざし、本学が平成20年度よりスタートさせた共通カリキュラム「伝統の心と技」が3年目に入り、ますます充実した教育内容となっています。特筆すべきは一流の講師、教授陣。

たとえば、「武道」の担当教員のひとり・植芝守央氏は合気道の開祖である植芝盛平氏の孫にあたり現合気道道主。文武両道をはじめとする本学の教育方針に深い理解を示し、稽古を通して心身の鍛練と人材育成に取り組んでいます。

「能」の指導者は能楽師の高林白牛口二氏と観世喜正氏。「日本を代表する伝統芸能である能楽(能)を学ぶことで、若い世代にも古典芸能を身近なものとして感じ取ってほしい」と意気込みを語ります。

その他に書道、茶道、落語、雅楽、伝統工芸、伝統建築、マナー・作法など、日本の伝統や文化について知るだけでなく、実際に体験し、自分の体で表現できるようになること、つまり、日本人らしい日本人になることを目指した教育を実践しています。



お問い合わせ 皇學館大学

〒516-8555 伊勢市神田久志本町1704

Phone 0596-22-0201 Fax 0596-27-1704

HP : <http://www.kogakkan-u.ac.jp>

会員発HOTニュース

会員企業の最新HOTニュース(企業PR・店舗紹介・新商品・新サービス・新装オープン等)をお届けいたします。

■事業案内(株式会社三重平安閣)

真(真心・真実・真剣)のサービスを通じ
地域に愛され、地域社会に貢献できる企業を目指しています。

経済産業大臣許可番号互第4030号
全日本冠婚葬祭互助協会加盟
全国冠婚葬祭互助会連盟公認

株式会社 三重 **平安閣**

本社 四日市市元町8-5 TEL059-351-3390
<http://www.mie-heiankaku.co.jp/>



■事業案内(株式会社ソル・プランニング)



株式会社 **ソル・プランニング**
社会的企業(ソーシャルエンタープライズ)

〒510-0243

三重県鈴鹿市白子3丁目5番5号 THビル1F

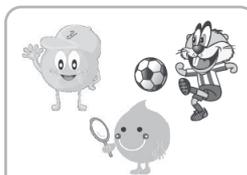
TEL:059-373-6116 FAX:059-373-6131

<http://www.sol-planning.com/>

私たちソル・プランニングはスポーツを通して「教育」「生きがい」「夢」をサポートしていきます。

当社のソル(sol)はスペイン語で「太陽」の意味であり、太陽の様に明るくエネルギーで周りに元気と勇気を与え、笑顔の絶えない企業、人づくりを目指します。

スタッフは自ら夢と希望を持ち、携わる方々に同じく夢や希望を与えられるように邁進していきます。



スクール事業部

- ・ベースボールクラブの運営
- ・フットボールクラブの運営
- ・スポーツクラブの運営



美と健康事業部

- ・温泉水の販売



ゴルフ事業部

- ・シミュレーションゴルフの販売
- ・スポーツカフェ、バーの運営

■事業案内(伊藤印刷株式会社)

企画・デザイン・編集・出版・情報商材製作などお気軽にお電話下さい。



人の出逢いを大切に
伊藤印刷株式会社

本社 〒514-0027 三重県津市大門32-13

TEL 059-226-2545(代) FAX 059-223-2862

<http://www.ztv.ne.jp/ito-pto/> E-mail ito-pto@ztv.ne.jp

支店 松阪支店・鈴鹿支店・伊賀支店

三重楽彩事務局

“ぬり絵のできる絵ハガキ”
三重楽彩

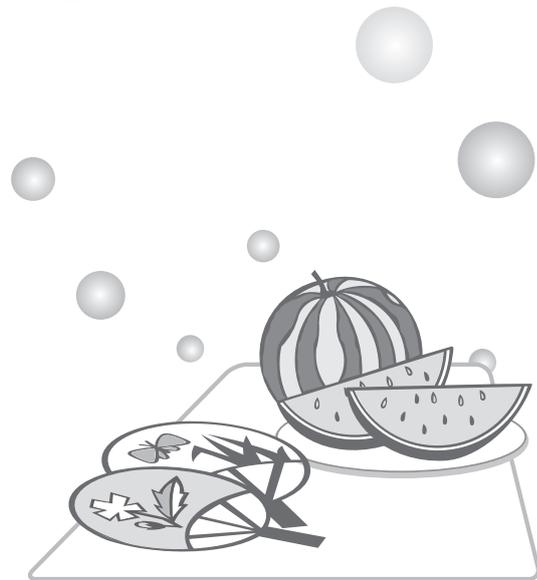
絵の具付パレットがハガキと一体で、
その場で描けるぬり絵ハガキです。

URL: <http://mierakusai.com> E-mail: info@mierakusai.com



※ご応募はメール(hotnews@miekeikyo.jp)で承ります。詳細はメールでお知らせします。(掲載は応募順)

暑中お見舞い 申し上げます



三重県経営者協会

会 長	奥 田 卓 廣
副 会 長	菊 川 靖 之
副 会 長	小 林 長 久
副 会 長	高 崎 征 輝
副 会 長	黒 川 正 機
副 会 長	澤 田 隆
副 会 長	佐 藤 浩 司
専 務 理 事	横 田 正 典

(50音順)

<p>イメージ クリエイト 想像を創造する 各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、 皆様の情報発信のお手伝いをいたします。</p> <p>株式会社 アイブレン</p> <p>TEL 0596-27-1111(代) 代表取締役 楠木 裕子</p>	<p>今村会計事務所</p> <p>所長・税理士 今 村 元 宣</p>
<p>フィッシング遊・アサヒ  </p> <p>アサヒレジャー株式会社</p> <p>代表取締役社長 上 野 精 一</p>	<p>人を取り巻く全ての予防衛生を支援します</p> <p>株式会社 イムテス</p> <p>代表取締役社長 小 林 眞一郎</p>
<p>ISO27001 認証取得工場 印刷のプロフェッショナル</p> <p>株式会社 伊勢出版</p> <p>代表取締役 玉 井 信 吾</p>	<p>Canon</p> <p>上野キヤノンマテリアル株式会社</p> <p>代表取締役社長 浅 岡 信 行</p>
<p>ISO27001 情報管理国際認証取得</p> <p>総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社</p> <p>代表取締役 伊 藤 孝 行</p>	<p>CS(顧客満足)の向上と人材育成</p> <p>有限会社 エム・アル・シー</p> <p>代表取締役 足 坂 三 長 取 締 役 井ノ口 美津子</p>

<p>有限会社 オーピーエス 岡島パソコンスクール</p> <p>代表取締役 岡 島 久美子</p>	<p>学校法人 皇學館</p> <p>理事長 佐 古 一 洵</p>
<p>製造・物流のアウトソーシングは</p> <p> オーユース株式会社</p> <p>代表取締役社長 大市 元</p>	<p>御在所  GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ</p> <p>取締役社長 池 田 信 政</p>
<p>冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の</p> <p>有限会社 奥田冷機</p> <p>代表取締役 奥 田 幸 広</p>	<p>超硬及びハイス工具研削専用機(設計・製作) —当社は専用工作機械及び金型部品のメーカーです—</p> <p>株式会社 小林機械製作所</p>
<p> 株式会社 おやつカンパニー</p> <p>代表取締役社長 松 田 好 旦</p>	<p>三交興業株式会社</p> <p>名阪関ドライブイン 名阪上野ドライブイン</p> <p>取締役社長 森 川 正 治</p>
<p>株式会社 菊川鉄工所</p> <p>代表取締役会長 菊 川 靖 之</p>	<p>株式会社 三交タクシー</p> <p>取締役社長 宮 田 準</p>
<p> ふれあい・たいせつに きゅうどら</p> <p>代表取締役 清 水 秀 隆</p>	<p> 株式会社三交ドライビングスクール</p> <p>四日市自動車学校 名四自動車学校</p> <p>取締役社長 北 川 幸 彦</p>
<p> 農業屋</p> <p>クラギ株式会社</p> <p>代表取締役社長 竹 内 秀 樹</p>	<p>三交不動産株式会社</p> <p>取締役社長 長 嶋 賢 次</p>
<p>昼も夜も、まごころガード24時</p> <p>株式会社 ケージエス</p> <p>代表取締役 小 山 良 夫 電話 0594-21-3641</p>	<p>三交旅行株式会社</p> <p>取締役社長 森 口 明 好</p>

<p>新生サポート株式会社</p> <p>代表取締役 清本 健一郎</p>	<p>TOSHIBA Leading Innovation >>></p> <p>株式会社 東芝 セミコンダクター社 四日市工場 工場長 佐藤 浩司 TEL 059-330-1001</p>
<p> 響いてこそ技術 シンフォニアテクノロジー</p> <p>伊勢製作所 取締役 古谷 浩三 ((旧)神鋼電機より社名変更致しました)</p>	<p>東邦液化ガス株式会社三重支店</p> <p>支店長 寺本 勝治</p>
<p> SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学</p> <p>理事長 高木 純一 学長 作野 史朗</p>	<p>TOENEC 中部電力グループ</p> <p>株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 大脇 久生</p>
<p>学校法人 享栄学園 鈴鹿国際大学</p> <p>学長 中野 潤三</p>	<p>有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ</p> <p>代表取締役 吉井 清二</p>
<p>株式会社 ZTV</p> <p>取締役社長 田村 憲司</p>	<p>湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル</p> <p>代表取締役社長 藤井 俊彰</p>
<p>セキュリティーコスト削減 お任せください (株)セフティージャパン</p> <p>代表取締役社長 加藤 智</p>	<p>中辻医科器械株式会社</p> <p>代表取締役 三宅 克治</p>
<p>助成金・就業規則承ります。 総合経営労務センター</p> <p>TEL:059-222-1198 FAX:059-222-2918</p>	<p>日本トランスシティ株式会社</p> <p>代表取締役社長 小林 長久</p>
<p>スポーツを通して全ての人に笑顔を提供します</p> <p> 株式会社 ソル・プランニング 社会的企業 (ソーシャルエンタープライズ)</p> <p>代表取締役 倉田 弘明</p> <p>http://www.sol-planning.com/ </p>	<p>プラザ洞津</p> <p>支配人 大藪 康雄 TEL059-227-3291</p>

 <p>松阪カントリークラブ</p> <p>取締役社長 奥田 卓 廣 専務取締役支配人 藤本 輝 秋 TEL0598-29-2911</p>	<p>セキュリティのトップメーカー 美和ロックは「安全」と「安心」を創造しお届けしています。</p>  <p>美和ロック株式会社</p>
<p>50周年 <昭35.10.開場></p>  <p>株式会社 三重カントリークラブ</p> <p>取締役社長 山 家 均</p>	<p>地域の安全と快適を約束する 警備業・観光バス・旅客業</p> <p>株式会社 メイハン</p> <p>代表取締役 田 畑 博</p>
<p>三重県観光開発株式会社</p> <p>取締役社長 小 林 哲 也 専務取締役 岡 橋 宣 孝</p>	 <p>株式会社 安永</p> <p>Yasunaga 代表取締役社長 高 崎 征 輝</p>
<p>がんばる企業を応援します！</p>  <p>三重県信用保証協会</p> <p>ホームページアドレス http://www.cgc-mie.or.jp/</p>	<p>消防防災で安全安心を創る</p> <p>株式会社 山口商会</p> <p>代表取締役社長 山 口 久 彦</p>
<p>三重交通株式会社</p> <p>取締役社長 森 口 明 好</p>	<p>ワールド工業株式会社 三重支店</p> <p>支店長 横 矢 和 則 電話 0595-21-9669</p>
<p>三重交通商事株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮 本 隆 生</p>	<p>三重県経営者協会</p> <p>職員一同</p>
<p>地域に根ざし世界に誇れる 国立大学法人 三重大学</p> <p>学 長 内 田 淳 正</p>	

パパの育児休業を応援します!! 2か月間は「パパの月」

今、子育てを積極的に楽しむパパが「イケメン」ならぬ「イクメン」と呼ばれ注目されています。

- 育児休業は、子育ての第一歩です。パパの育児休業を応援する改正育児。介護休業法が、平成22年6月30日からスタートしました。
- お子さんやママのため、また、パパ自身のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のため、厚生労働省は、お父さんの育児休業を応援します。
- 法改正により、パパとママがともに育児休業をしたら育児休業可能期間が2か月延長されます。まずは2か月間、育児休業をしてみませんか？



制度改正によってパパが育児休業をとりやすくなるポイント

改正前

ママが子育てに専念している場合、パパは育児休業を取得できない。
(※労使協定がある場合)

育児休業は原則として子どもが1歳になるまで取得可能

育児休業は原則として1回限りで再度取得は不可

改正後

ママが専業主婦や育児休業中である場合でも、パパは育児休業を取れるようになります！

ママだけでなくパパも育児休業をする場合、休業可能期間が2か月伸びます！（パパ・ママ育休プラス）

Ex. ママが1歳まで育児休業を取り、パパは1歳から1歳2か月までの間育児休業をとる。

出産後8週間以内にとった育児休業は別カウントとし、いったん職場復帰した後に、もう一度育児休業が取れます！

休業しても、育児休業給付として、賃金の50%が支給されます！

平成22年4月1日以降
に育児休業をスタートした方

休業開始時の賃金の**50%**が、
育児休業期間中に支給されます。
(原則として2か月に1回まとめて支給)

平成22年3月31日まで
に育児休業をスタートした方

上記期間までに育児休業をスタートした方は、休業開始時の賃金の**30%**が、休業中に支給されます（原則として2か月に1回まとめて支給）。また職場復帰6か月後から、休業開始時の賃金の**20%**が支給され、合計で**50%**が支給されます。

常時雇用する従業員数が101人以上の事業主様へ

三重労働局へ「一般事業主行動計画」のお届出はお済でしょうか。

従業員数が300人から101人の事業主様。平成23年4月1日まで、あと8ヶ月余りです。未届の事業主の皆様には、下記のセミナー＆個別相談会を開催いたしますので、ご参加をよろしくお願いいたします。

■ 行動計画策定セミナー＆個別相談会（参加無料）

- ◆日程 8月27日(金) 13:30~16:00
 - ◆場所 四日市市勤労者市民・交流センター 東館2階 第3会議室
 - ◆定員 20名（定員になり次第締め切り）
- 詳細については、下記ホームページをご覧ください。

お問合せ：三重県経営者協会 一般事業主行動計画策定等支援事業
 コンサルタント：小林 篤郎・沢 勝弘 担当：中村宏行
 ホームページ：<http://miekeikyo.jp/ippan.html>
 電話：059-223-0222 FAX：059-223-0224
 〒514-0033 三重県津市丸之内9番18号 津丸の内ビル3階

厚生労働省委託事業

「70歳まで働ける企業」創出事業

～70歳雇用の実現に向けて～



昨年度に引き続き厚生労働省より「70歳まで働ける企業」創出事業を受託致しました。

65歳までの安定した雇用の確保・「70歳まで働ける企業」の普及・促進を今年度も行ってまいります。

詳細については、後日リーフレットを作成し、お知らせします。

お問い合わせ先：三重県経営者協会「70歳まで働ける企業」創出事業

担当：横田 正典・辻 みどり

電話：059-228-3557 F A X：059-228-3710

平成22年度

インターンシップの受入 事業所を募集しています

インターンシップは、学生が在学中に企業などで一定期間就業体験を行う教育制度です。地域の産業界の皆様のご協力があったはじめて実現できる制度ですので、積極的な参加をお願いいたします。

インターンシップ受入登録事業所を募集しております。未登録の会員事業所、またご紹介いただける事業所の方は、事務局 西場（にしば）までご連絡をお願いいたします。

三重県下で約550事業所が現在登録されています。

*参加する学生は、事前研修を受け、インターンシップ保険等に加入した上で実習に参加します。
(事業所側のご負担はありません)

受入事業所にとってのメリット

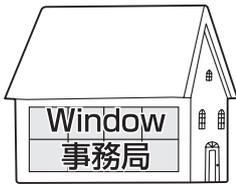
企業のPR効果

優秀な人材の発掘

職場の活性化

受入による
職業観・就労意識の形成・向上

三重県インターンシップ受入企業開拓業務



新会員の紹介

マツオカ建機株式会社

事業内容 土木建設機械、ハウス・一般備品・
仮設足場等の販売・レンタル・工事
等の総合レンタルサービス業

代表者 代表取締役 松岡美江子

所在地 三重郡川越町当新田17番地

電話 059-365-8271

F A X 059-363-0206

ホームページ <http://www.matsuokakenki.co.jp/>



東海運輸建設株式会社

事業内容 一般貨物自動車運送業等

代表者 取締役社長 門井 恵介

所在地 四日市市馳出町1-135

電話 059-345-2486

F A X 059-345-0668

ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~tuk/>



株式会社百五経済研究所

事業内容 調査・研究の受託、経営コンサルティング、セミナー、講演会の開催等

代表者 代表取締役社長 雲井 純

所在地 津市丸之内9-18 津丸の内ビル

電話 059-228-9105

F A X 059-228-9380

ホームページ <http://www.hri105.co.jp/>

三八運輸株式会社

事業内容 自動車貨物取扱運輸業、倉庫業

代表者 代表取締役社長 森 貢

所在地 津市久居中町805

電話 059-256-3838

F A X 059-256-6263



アイブレン株式会社

事業内容 総合印刷業

代表者 代表取締役社長 楠木 裕子

所在地 伊勢市神久3丁目5番67号

電話 0596-27-1111

F A X 0596-23-0125

ホームページ <http://ibrain.mie-net.ne.jp/>



医療法人碧会

事業内容 医療業
 介護老人保健施設「なごみの郷」
 複合型介護施設群「しおりの里」

代表者 理事長 柳瀬 仁

所在地 津市乙部5番3号

電話 059-213-5677

F A X 059-213-5332

ホームページ <http://www.pmc.or.jp/midori/>

ヤナセメディケアグループ
 【医療法人 碧会】
 【社会福祉法人 寿泉会】



れんらく・つうしん

第18期「第1回労務管理改善協力委員会定例総会」

～役員改選・新部会の編成・正副部会長の
 選出・実務セミナー・交流懇親会～

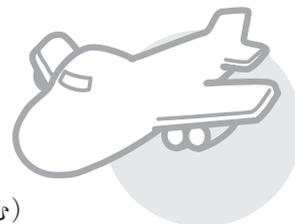
- ・日時 平成22年8月10日(火) 13:30～19:00
- ・会場 プラザ洞津(近鉄津新町駅下車、西へ徒歩3分)
- ・プログラム
 - ①定例総会(13:30～16:15)
 - ②実務セミナー(16:20～17:20)
 - i 「70歳雇用の実現にむけて」
 講師：三重労働局
 職業対策課課長補佐 小西 克明氏
 - ii 「高齢者雇用の為の助成金について」
 講師：(社)三重県雇用開発協会
 高齢部長 森田 悦男氏
 - ③交流懇親会(17:30～19:00)

第10回三重経協海外経済・労働事業視察 参加者募集中!!

当協会では会員会社の経営幹部の方々、人事・労務・総務担当責任者を対象に、隔年毎、海外経済・労働事情視察を行っております。

今回の海外経済・労働事情視察は、現在東アジアでは中国に次ぐ高成長を維持しているベトナムと、外国からの投資も大きな伸びを示しているカンボジアを訪問いたします。

- ・日程 平成22年10月5日(火)～10日(日) 5泊6日(機中1泊)
- ・訪問国 ベトナム社会主義共和国(ハロン1泊・ハノイ1泊)
 カンボジア王国(アンコールワット2泊)
- ・参加費 1名 284,000円(税込)
 (燃料サーチャージ料及び空港税、査証代、飲料代等含む)
- ・定員 20名
- ・問合せ 三重県経営者協会 西場(にしば)迄
 TEL:(059)228-3557・3679 FAX:(059)228-3710・3575



ドバイ(バージニアルアラブホテル前の海岸)



イスタンブール(世界遺産「ブルーモスク」前)

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材
送出
企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業
- 65歳までの継続雇用が自社内では困難で、該当者の再就職を支援したい企業

産業雇用
安定センター
三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

人材
受入
企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

企業ごとの話し合い・面接

無料

出向・移籍の成立

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

(財)産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌
(2014.6)

事業名	とき	ところ	
監事会	4.13(火)	三重県経営者協会事務局	経 協 関 係
会長・副会長会議	4.15(木)	津都ホテル	
日本経団連理事会・地方経協専務理事会	4.20(火)	日本経団連会館	
労働保険(労働・雇用保険)実務講座	4.22(木)	ブラザ洞津	
第1回好事例集検討委員会(一般事業主行動計画策定等支援事業)	5.10(月)	ブラザ洞津	
第2回三重県雇用・経済危機対策会議経済部会	5.12(水)	吉田山会館	
三県専務理事会	5.14(金)	愛知県経営者協会	
平成22年度定時会員総会・特別講演会	5.19(水)	ブラザ洞津	
MVL監事会・第48回MVL運営委員会	5.24(月)	ブラザ洞津	
日本経団連 定時総会・記念パーティー	5.27(木)	日本経団連会館	
三重県雇用・経済対策会議	6.3(木)	グリーンパーク津	
インターンシップ事前研修会	6.5(土)	三重大学	
労務管理改善協力委員会 役員会	6.10(木)	ブラザ洞津	
日本経団連理事会・地方経協専務理事会	6.15(火)	日本経団連会館	
一般事業主行動計画策定セミナー	6.15(火)	ブラザ洞津	
労務管理改善協力委員会第1・第2合同部会(最終部会及び懇親会)	6.17(木)	スポーツマンハウス鈴鹿	
社会保険(健康保険・厚生年金)実務講座	6.24(木)	ブラザ洞津	



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

平成22年7月22日 発行
発行人/三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1森永三重ビル3F